

1. 件名：福島第一原子力発電所におけるゼオライト土嚢等処理設備の実規模モックアップ試験等の現地確認
2. 日時：令和5年9月27日（水）10時30分～17時20分
3. 場所：日本原子力研究開発機構櫛葉遠隔技術開発センター
4. 出席者
原子力規制庁
長官官房
佐藤核物質・放射線総括審議官
原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
澁谷企画調査官、正岡企画調査官、森審査班長、石井安全審査官、椎名係長

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
東京本社 担当4名
福島第一原子力発電所 担当13名

5. 要旨

- 原子力規制庁は、特定原子力施設の実施計画の審査等に係る技術会合第13回会合（令和5年9月11日開催）において議論したゼオライト土嚢等処理設備の実規模モックアップ試験等について確認を行った。
- 実規模モックアップ試験の確認前に、東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、当該試験の内容、進捗状況、課題等について説明を受けた。
- また、実規模モックアップ試験の確認後に、原子力規制庁から、今回確認した範囲においては各種設備が概ね良好に機能していることを確認できたこと、ゼオライトの脱水など今回確認できなかった項目等についても適宜試験状況を報告すること、今回の現地確認の結果も踏まえ引き続き審査をしていくことを伝えた。

6. その他

資料：

- ゼオライト土嚢等処理の実規模モックアップの実施状況について
- ゼオライト土嚢等処理設備における実規模モックアップについて
（特定原子力施設の実施計画の審査等に係る技術会合第13回会合資料3-1）

参考：

特定原子力施設の実施計画の審査等に係る技術会合第13回会合

https://www.nra.go.jp/disclosure/committee/yuushikisya/1F_gijyutsu/140000001_00016.html